

【説明資料】

令和7年度 国内における 米陸軍との実動訓練（ノース・ウインド26） について

令和7年12月
防衛省

令和7年度 国内における米陸軍との実動訓練について (ノース・ウインド26)

訓練の目的

米陸軍との積雪寒冷地における実動訓練を実施し、作戦遂行能力及び相互運用性の向上を図ることを目的としています。

本訓練は、令和6年度に引き続き今回で33回目の実施となります。

実施場所

訓練実施場所は、真駒内駐屯地、滝川駐屯地、滝川演習場及び北海道大演習場（千歳地区、恵庭地区、島松地区）の使用を予定しています。また、統裁部が南恵庭駐屯地を使用するとともに、陸自及び米軍のヘリ部隊が、離着陸場・駐機場として丘珠駐屯地を使用する予定です。

実施期間

令和8年1月22日（木）から2月2日（月）まで
（訓練準備は1月12日以降、撤収は2月9日までを予定）

演習の内容

- 令和8年1月22日から2月2日までにかけ、北海道内の演習場等において、米陸軍との実動訓練を実施する計画です。
- 今回の日米共同訓練においては、積雪寒冷地における作戦遂行能力及び相互運用性の向上のため、陸自第11旅団第10即応機動連隊と米陸軍第11空挺師団1コ大隊が北海道大演習場等を活用し共同戦闘訓練等を実施する予定です。
- この際、積雪寒冷地におけるスキ行進等の機能別訓練及び一連の戦術行動を演練する総合訓練、並びに訓練期間を通じて陸自、米軍ヘリを活用した空中機動の訓練が予定されています。
- 1月22日（木）に、米陸軍部隊が、米空軍C-130輸送機により、北海道大演習場において空挺降下訓練を予定しています。
- 今回の訓練では、初めてカナダ陸軍の1コ小隊が米陸軍の指揮・統制を受けて、同期間、実動訓練に参加する予定です。
- 本訓練期間中、ニセコ演習場において、米軍及びオブザーバーが、陸上自衛隊冬季戦技教育隊の実習課目を研修予定です。

